

但馬の経済指標

令和3年7月～9月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より4.0ポイント増加し、△42.3となった。

②有効求人倍率は、9月期1.36倍。前年同月と比べて0.15ポイント増加した。

	項 目	今期(7月～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫 △ 42.3	+ 4.0	+ 7.7	
2	雇用	9月	対前月(増減)	対前年同月(増減)	
		有効求人倍率	1.36	+ 0.05	+ 0.15
		9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		有効求人数(人)	4,026	+ 2.94	+ 11.03
		有効求職者数(人)	2,954	△ 0.94	△ 1.66
	雇用保険受給者実人員(人)	615	△ 3.00	△ 10.48	
3	金融	9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		普通貸付残高(百万円)	14,487	△ 0.35	△ 2.82
		手形交換枚数(枚)	4,428	△ 9.13	△ 9.41
		手形交換金額(百万円)	3,949	△ 28.58	△ 7.02
		今期(7月～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		不渡手形枚数(枚)	1	+ 1	△ 12
		不渡手形金額(千円)	538	+ 538	△ 4,799
		9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
	信用保証承諾額(百万円)	716	+ 34.33	△ 77.47	
	信用保証債務残高(百万円)	63,574	△ 0.51	+ 13.19	
4	公共工事	9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		公共工事請負金額(百万円)	5,374	+ 47.80	+ 7.33
参考	企業倒産(全県)	今期(7～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		件数	98	+ 15	△ 17
	負債総額(百万円)	12,504	+ 6,351	△ 9,032	
5	地場産業	豊岡かびん	売上高、生産量、収益ともやや多い。	売上高、生産量、収益ともやや多い。	

1 業況判断

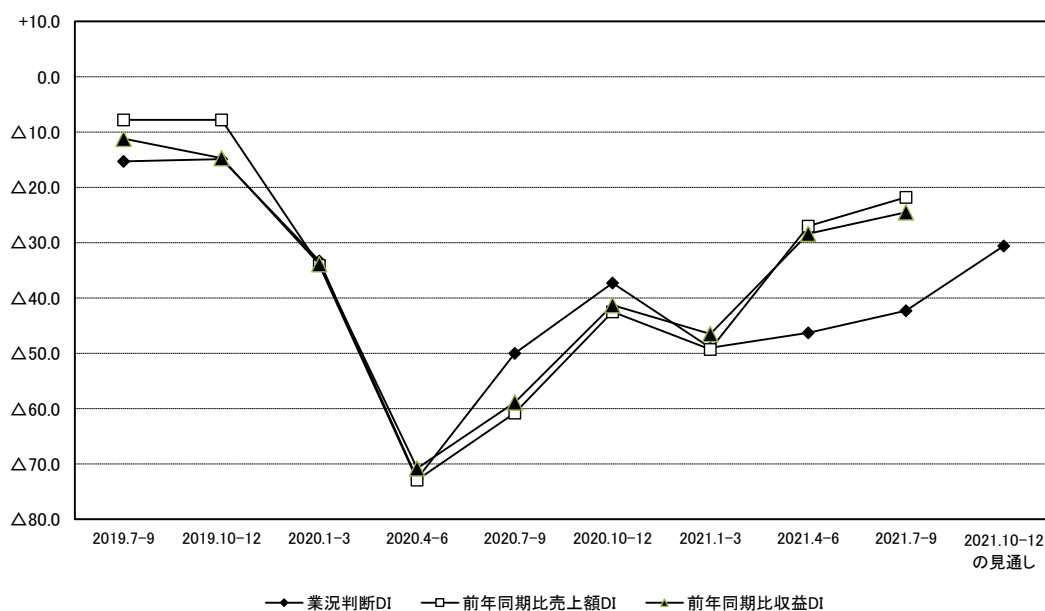
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より4.0ポイント増加し、△42.3となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが△30.6となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは△21.8、同収益DIは△24.5となった。

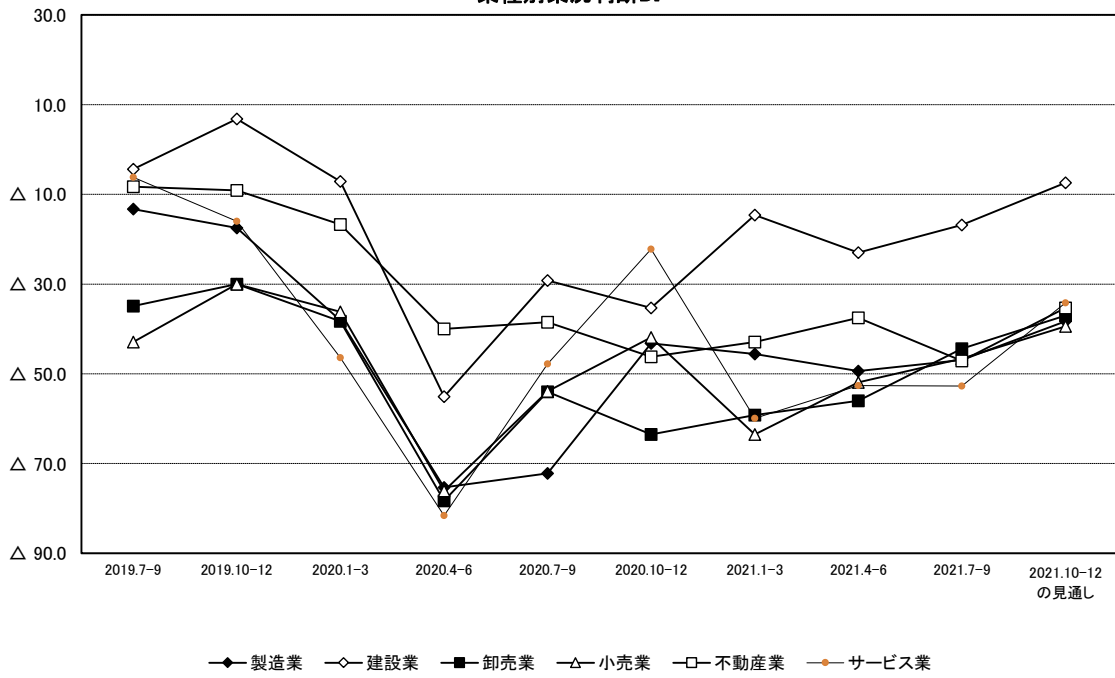
業況判断DIの推移



	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12 の見通し
業況判断DI	△15.3	△14.9	△33.3	△72.7	△50.0	△37.3	△49.0	△46.3	△42.3	△30.6
前年同期比売上額DI	△7.8	△7.8	△34.1	△72.9	△60.8	△42.5	△49.3	△27.0	△21.8	-
前年同期比収益DI	△11.2	△14.7	△33.9	△70.8	△58.9	△41.3	△46.5	△28.4	△24.5	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

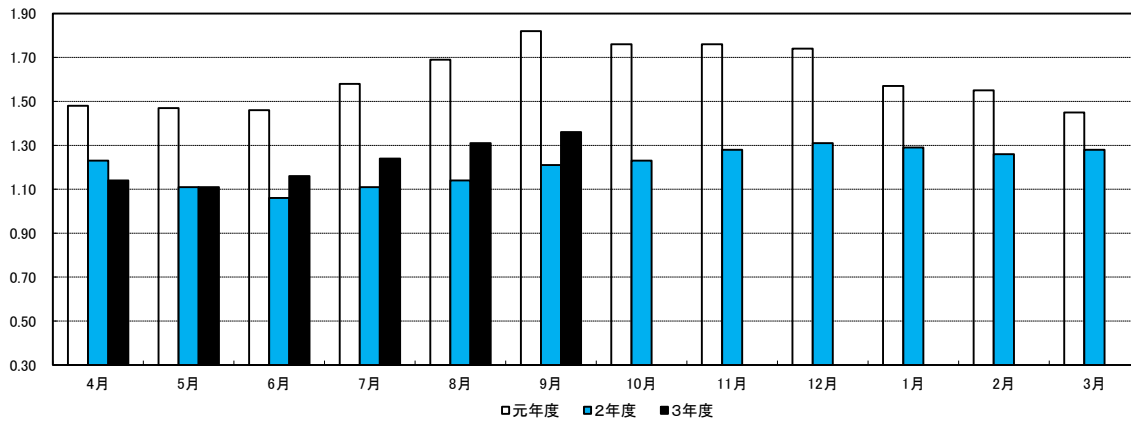


	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12 の見通し
製造業	△ 13.3	△ 17.5	△ 38.1	△ 75.3	△ 72.2	△ 43.2	△ 45.6	△ 49.4	△ 46.9	△ 38.3
建設業	△ 4.4	6.8	△ 7.1	△ 55.1	△ 29.2	△ 35.3	△ 14.6	△ 23.0	△ 16.8	△ 7.4
卸売業	△ 34.9	△ 30.0	△ 38.3	△ 78.3	△ 54.0	△ 63.5	△ 59.2	△ 56.0	△ 44.4	△ 37.0
小売業	△ 42.9	△ 30.0	△ 36.2	△ 76.1	△ 53.9	△ 41.9	△ 63.5	△ 51.9	△ 46.6	△ 39.4
不動産業	△ 8.3	△ 9.1	△ 16.7	△ 40.0	△ 38.5	△ 46.2	△ 42.9	△ 37.5	△ 47.1	△ 35.3
サービス業	△ 6.2	△ 16.0	△ 46.4	△ 81.6	△ 47.8	△ 22.2	△ 59.9	△ 52.6	△ 52.7	△ 34.2

出典: 但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

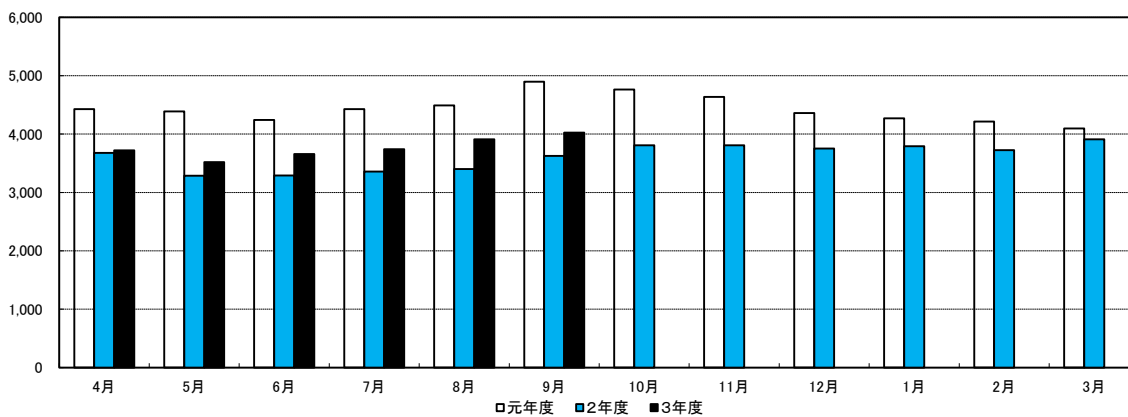
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82	1.76	1.76	1.74	1.57	1.55	1.45	1.61
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36							
対前月(増減)	△0.14	△0.03	+0.05	+0.08	+0.07	+0.05							—
対前年(増減)	△0.09	0.00	+0.10	+0.13	+0.17	+0.15							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

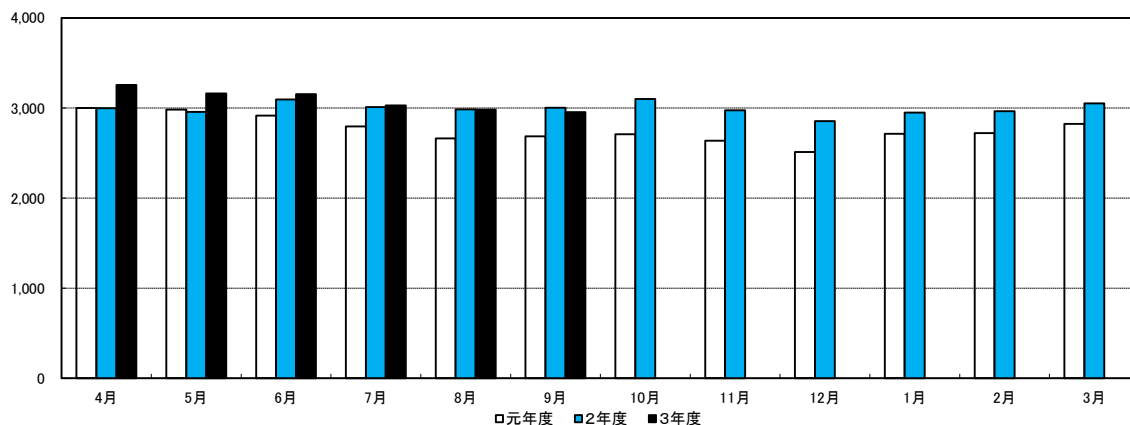
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896	4,763	4,636	4,362	4,271	4,213	4,096	4,435
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026							3,763
前月比(%)	△4.78	△5.48	+3.95	+2.30	+4.54	+2.94							—
前年同月比(%)	+1.17	+7.03	+11.09	+11.44	+15.00	+11.03							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

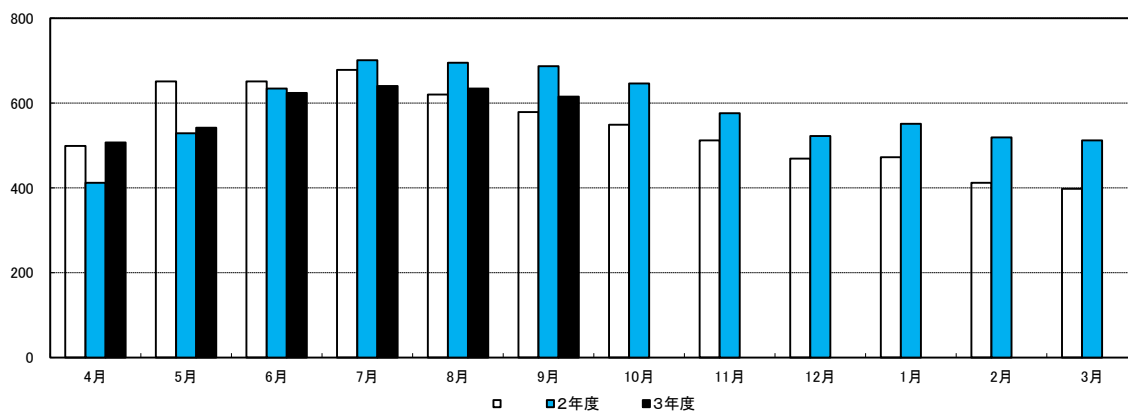
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686	2,709	2,638	2,511	2,713	2,722	2,824	2,763
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954							3,090
前月比(%)	+6.68	△2.89	△0.25	△3.96	△1.55	△0.94							—
前年同月比(%)	+8.64	+6.93	+1.91	+0.56	△0.07	△1.66							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

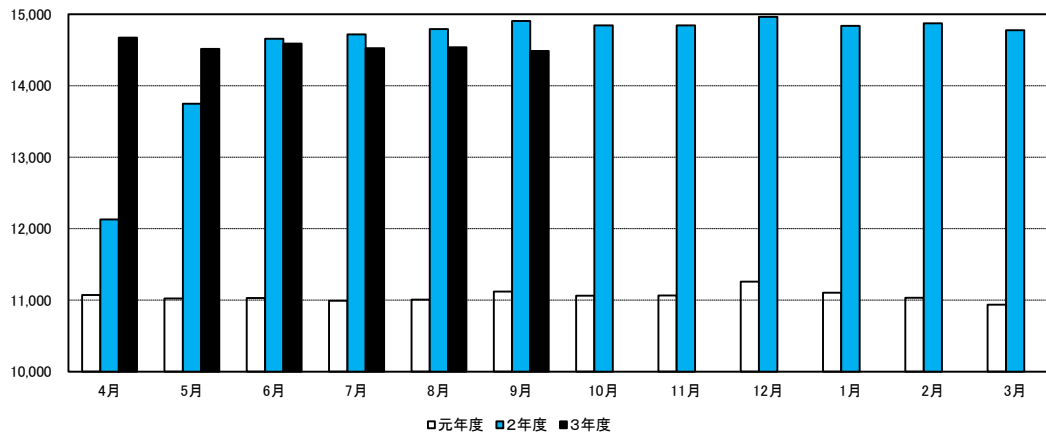


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	499	651	651	678	620	579	549	512	469	472	412	398	541
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624	640	634	615							594
前月比(%)	△0.98	+6.90	+15.13	+2.56	△0.94	△3.00							—
前年同月比(%)	+23.06	+2.46	△1.58	△8.70	△8.78	△10.48							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

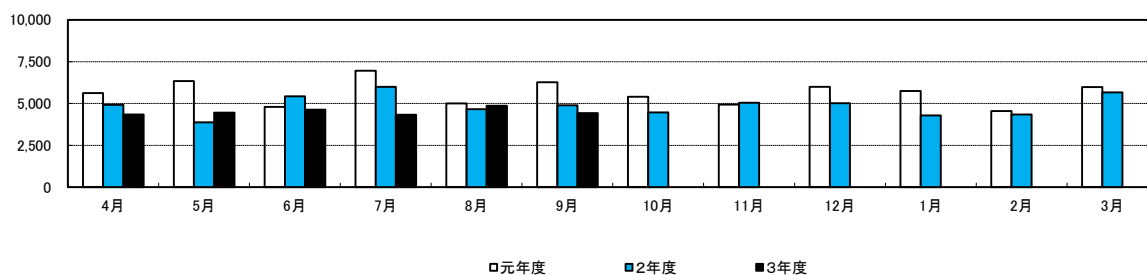
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122	11,062	11,066	11,258	11,105	11,034	10,938	11,059
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487							14,554
前月比 (%)	△0.70	△1.09	+0.52	△0.45	+0.10	△0.35							—
前年同月比 (%)	+20.97	+5.56	△0.46	△1.33	△1.72	△2.82							—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

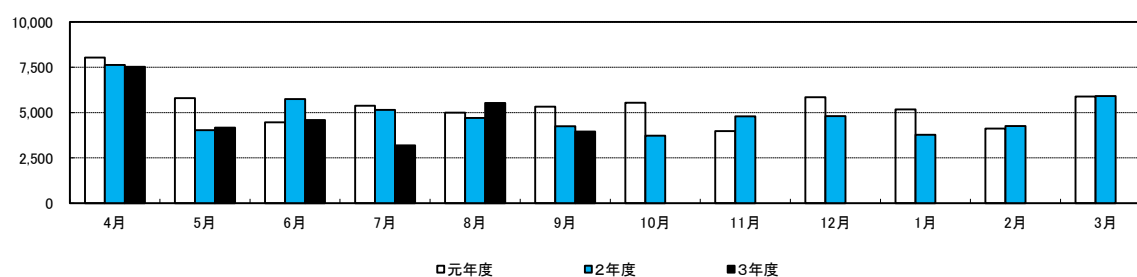
手形交換枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	5,627	6,343	4,793	6,957	5,008	6,268	5,411	4,940	5,998	5,755	4,555	5,984	5,637
2年度	4,920	3,880	5,435	6,002	4,666	4,888	4,471	5,048	5,020	4,286	4,345	5,666	4,886
3年度	4,350	4,455	4,634	4,335	4,873	4,428							4,513
前月比(%)	△23.23	+2.41	+4.02	△6.45	+12.41	△9.13							—
前年同月比(%)	△11.59	+14.82	△14.74	△27.77	+4.44	△9.41							—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

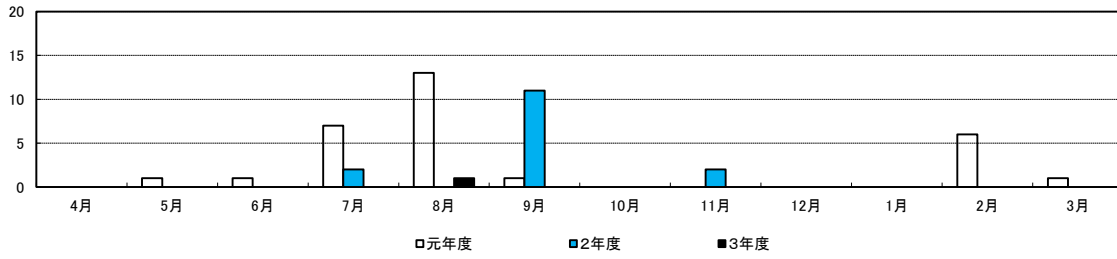
手形交換金額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	8,034	5,796	4,461	5,381	4,995	5,322	5,546	3,976	5,851	5,168	4,123	5,884	5,378
2年度	7,622	4,025	5,751	5,152	4,708	4,247	3,722	4,792	4,810	3,775	4,263	5,908	4,898
3年度	7,527	4,167	4,595	3,190	5,529	3,949							4,826
前月比(%)	+27.4	△44.64	+10.27	△30.58	+73.32	△28.58							—
前年同月比(%)	△1.25	+3.53	△20.1	△38.08	+17.44	△7.02							—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

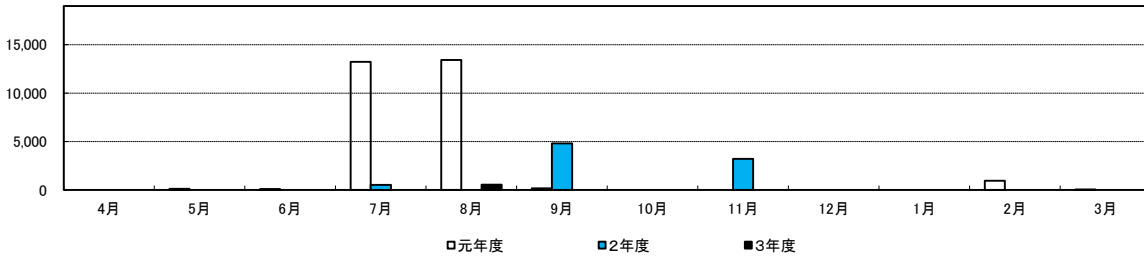
不渡手形枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	0	1	1	7	13	1	0	0	0	0	6	1	30
2年度	0	0	0	2	0	11	0	2	0	0	0	0	15
3年度	0	0	0	0	1	0							1

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

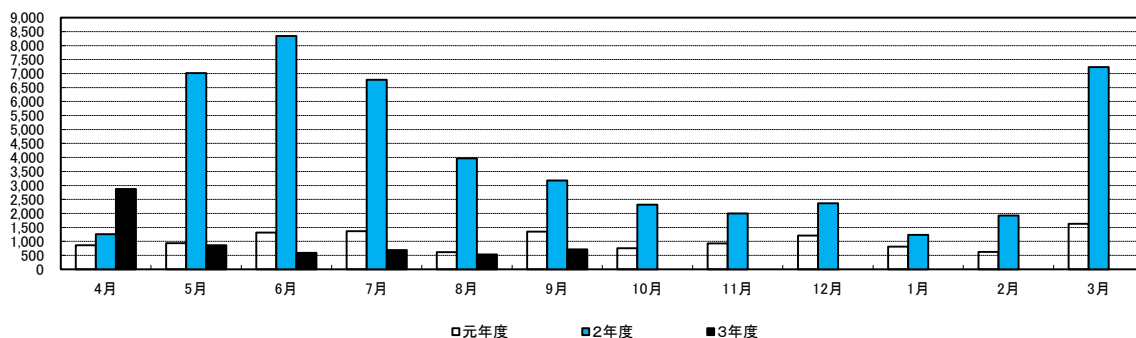
不渡交換金額(千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	0	120	83	13,223	13,426	152	0	0	0	0	950	48	28,002
2年度	0	0	0	521	0	4,816	0	3,210	0	0	0	0	8,547
3年度	0	0	0	0	538	0							538

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

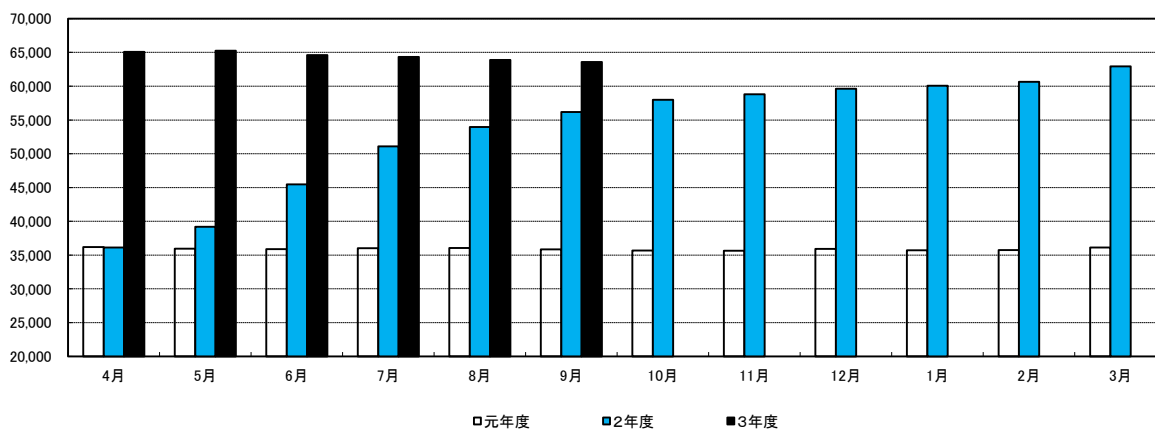
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348	759	925	1,209	817	624	1,627	1,034
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588	690	533	716							1,044
前月比(%)	△60.25	△70.01	△31.79	+17.35	△22.75	+34.33							—
前年同月比(%)	+128.64	△87.72	△92.95	△89.82	△86.58	△77.47							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

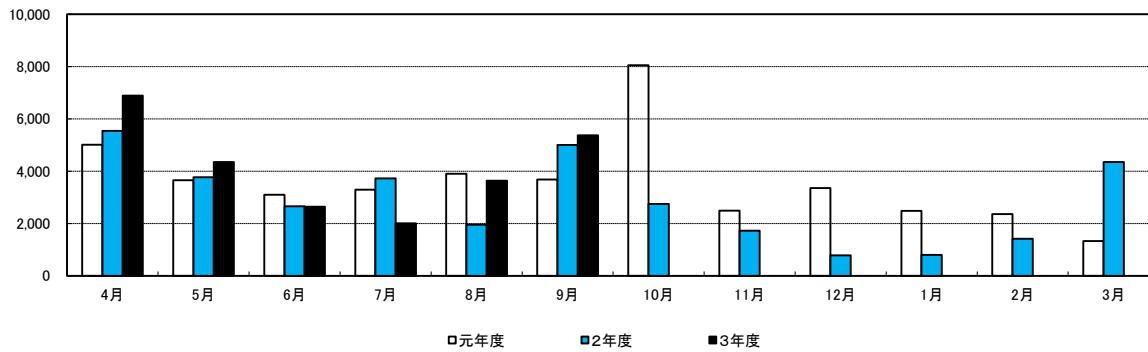


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856	35,678	35,635	35,926	35,721	35,735	36,121	35,897
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574							64,461
前月比(%)	+3.41	+0.25	△1.02	△0.42	△0.66	△0.51							—
前年同月比(%)	+80.19	+66.45	+42.1	+25.9	+18.44	+13.19							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

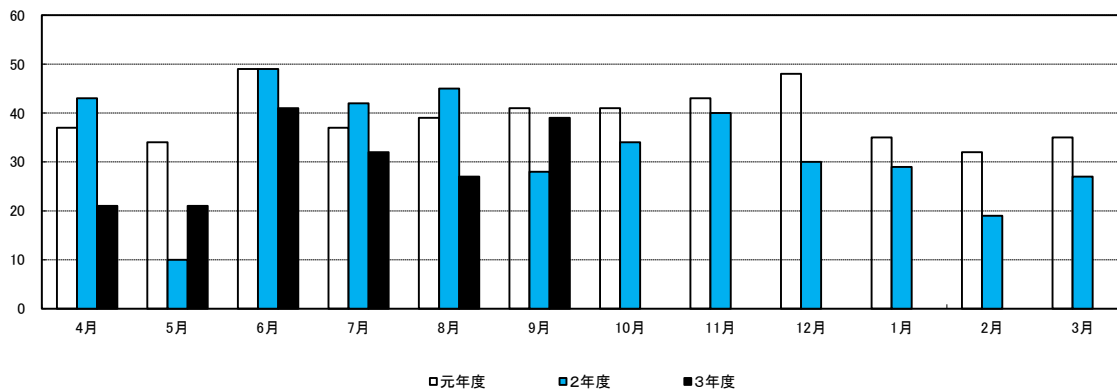


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678	8,053	2,491	3,358	2,487	2,357	1,334	3,560
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374							4,149
前月比 (%)	58.32	△ 36.85	△ 39.25	△ 24.00	81.08	47.80							—
前年同月比 (%)	24.27	15.33	△ 0.71	△ 46.12	85.79	7.33							—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

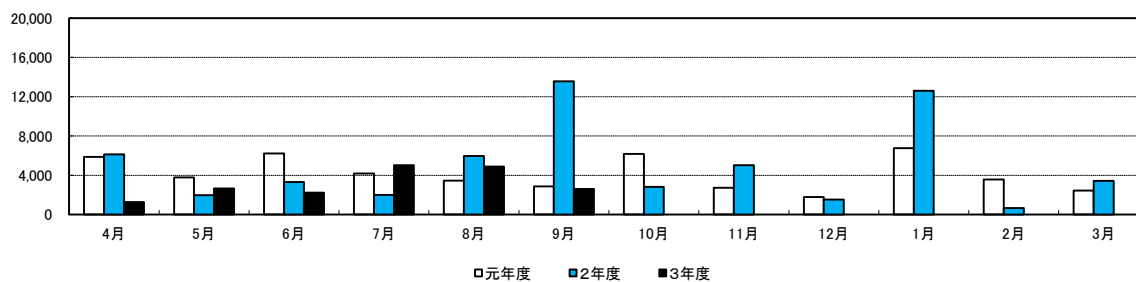
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	37	34	49	37	39	41	41	43	48	35	32	35	471
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41	32	27	39							181

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)



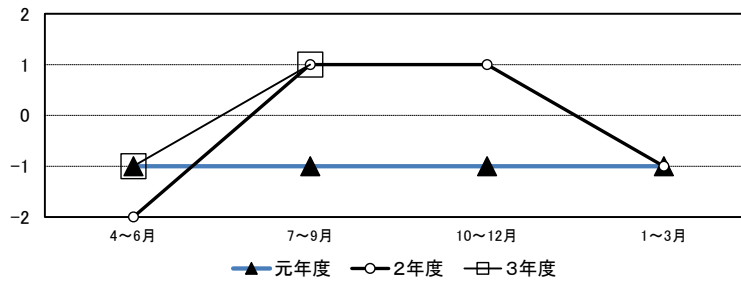
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	5,857	3,776	6,224	4,168	3,448	2,856	6,166	2,713	1,782	6,756	3,562	2,445	49,753
2年度	6,124	1,965	3,312	1,993	5,965	13,578	2,804	5,029	1,525	12,599	644	3,415	58,953
3年度	1,256	2,661	2,236	5,011	4,891	2,602							18,657

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

5 地場産業(豊岡かぼん)

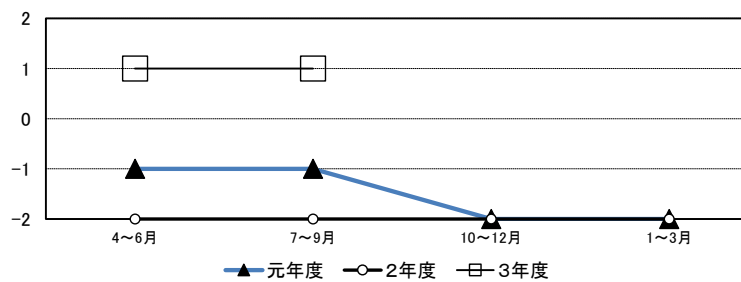
豊岡かぼん 売上高 (前期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



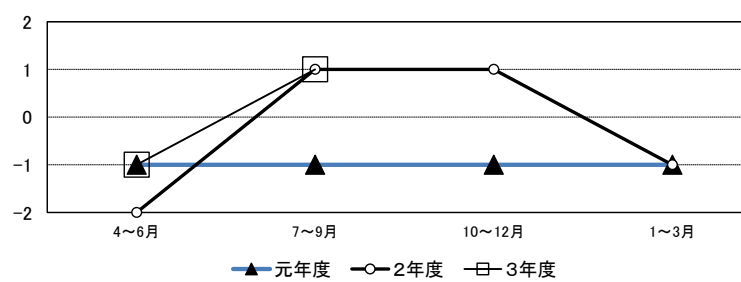
豊岡かぼん 売上高 (前年同期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



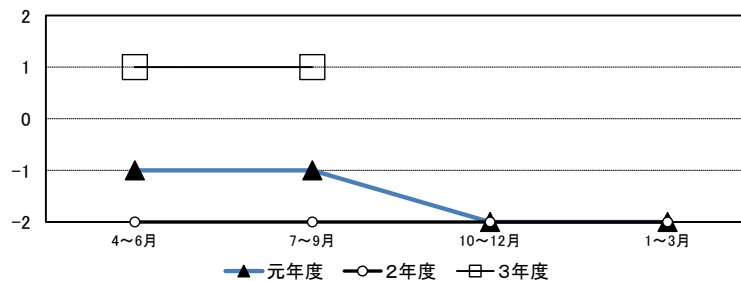
豊岡かぼん 生産量 (前期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない

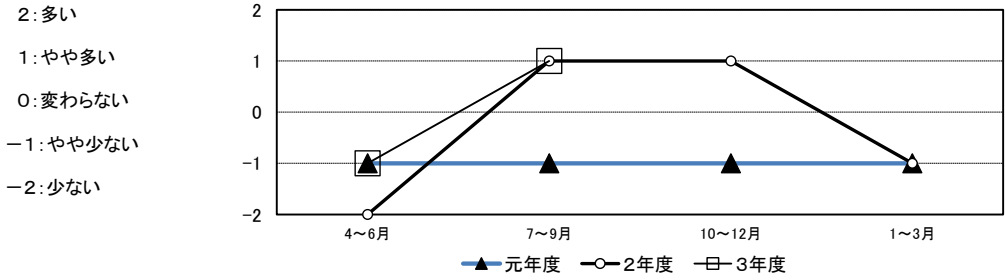


豊岡かぼん 生産量 (前年同期比)

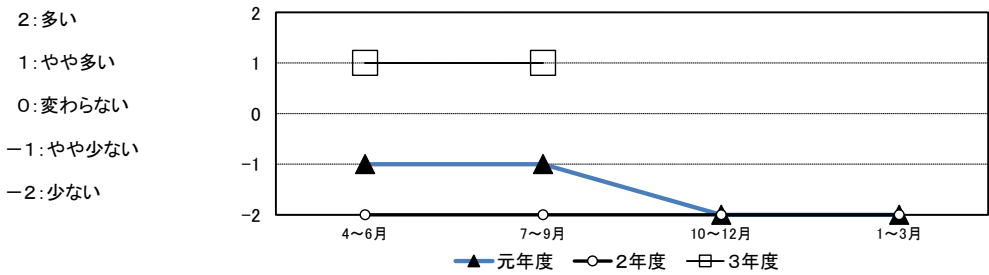
- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和3年4~6月)と比べて売上高、生産量、収益ともやや多い。

前年同期(令和2年7~9月)との比較では、売上高、生産量、収益ともやや多い。

概ね前期の状況と同じであるが、月の後半からやや生産の受注があり動き出した。2~3月の鞆業界は、繁忙期なので比較的仕事はあった。しかし、例年に比べ、数量の減少、受注単価の低下など厳しい状況であった。4月、5月の受注が少なく仕事がなく休業している企業もあったが6月から7月に入り生産を開始している企業も増えてきた。また、他方への働きかけにより新たな受注を受けたところもあるが、しかし、コロナ慣れもあり、動きは緩やかだ。卸商業も、緊急事態宣言で受注もピタリとまっていたが、宣言解除により徐々に動き出しているが極めて鈍い。6月から百貨店の開店し、徐々に受注が入ってきているが思ったより低調だ。鞆業界で動きがないので9月展示会を行う企業もあったが、バイヤーも非常に少ない状況である。また、鞆の材料が遅れ、高騰し、最低賃金のアップにより鞆価格(上代)の値上げをせざるを得ない状況で小売り店、発注者への理解に苦慮している。

宣言明けから徐々に回復の兆しがあり、受注も多い。しかし、コロナ禍で鞆縫製技術者が職を離れ、生産ができない状況で生産出荷額は伸びない状況が続いている。

豊岡鞆協会 回答

6 主要業種の概況

道路旅客 運送業	景況感は悪い。コロナ禍前と比較してバスが2,000台減便し、2億円の損失。指定管理施設の利用者数も大幅に減少しているが、グランピング施設の利用者数は変動がない。旅行内容の見直し、貸切バス事業の強化、新商品の開発を行い、コロナ後を見据えた準備を行う。バスの運行以外の分野にも力を入れる。高速バスの運転手を路線バスの運転手に変更する等、体への負担を軽減させる取り組みを行い、高齢者が働き続けられる環境を整備する。
その他 製造業	景況感はさほど良くない。コロナ禍のみが直接要因ではないが、7.8.9月の全体の売上は前年度と比較して減少する見通し。石油製品や紙の価格が上昇し、業界にマイナスの影響を与える。有給休暇の時間単位取得に取り組んでいるが、1日単位で取得する人が多い。従業員は48人であり、中途採用で入社した人が95.8%を占める。正社員とキャリアを積んで再任用された人、それぞれの対応についてバランスをとるのが難しい。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年7月)」より

銀行業	景況感はさほど良くない。不動産、建設、医療の外来診療は景況感が回復している。宿泊、飲食、イベントは景況感が悪い。融資件数、金額ともに昨年同時期(R2.7~9月)より約50%減少している。原因は、新型コロナウイルス対策における制度融資(無利子・保証料なし)が600億円あったことによる。この制度融資を利用して資金調達できている企業が多い。雇用については、技術職の人員のみ不足している企業が多い。取引先のビジネスサービス会社を吸収し、従業員数が150人以上増加した。
金属製品 製造業	景況感はさほど良くない。新型コロナウイルス感染症による影響はない。自動車業界や電気機器メーカーは、半導体不足の影響を受けている。半導体不足の原因は、茨城にある大手半導体企業で、今年3月に火災が起きたためである。離職率が低い地元の人材を確保したいため、申し入れがある高校に関しては就業体験を行う。地元の優秀な人材がUターン就職をする時に、就職先の候補にしてもらえるよう、企業の名前や雰囲気だけでも認知してもらえるような取り組みをしたいと考えている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年8月)」より

印刷・関連業	景況感は悪い。7.8.9月の全体の売上は前年度比で3%減少。印刷業界の売上としては、コロナ禍により1~2割落ち込む。アクリル事業等、印刷業の関連事業に力を入れる。水族館や動物園のお土産品の売上は、例年1億円だが、7000万円に落ち込む。コロナ禍が落ち着くまでは、大卒を育てる余裕がない。新卒採用では、高校生のみを募集する。中途採用では、即戦力となる、同じ職種から転職する人材を求める。
宿泊業	景況感は悪い。昨年のGoToトラベルの影響を受け、7.8.9月の全体の売上は前年度比で70%減少。11月から3月はカニのシーズンであることや、ワクチン接種が進んでいることを踏まえ、3か月後の景況感は、現在より良くなると予想。コロナ禍により、2週間前から当日の予約が増えている。今後は客単価を上げることを検討中。当地域では、社員の解雇や廃業に追い込まれた旅館はない。地域全体で実施している外国人学生の受け入れが実施できず、人材不足を懸念している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年9月)」より